



## 身近な郵便局で行政手続き 園部郵便局で 行政事務の取扱い開始

市は、園部出張所の廃止に伴い、住民票の交付などの行政事務を園部郵便局に委託し、1月15日（木）から取扱いを開始しました。これに先立ち、同日、園部郵便局で「郵便局における石岡市行政事務の取扱開始式」が行われました。この取り組みは、地域住民の利便性を確保しながら、持続可能な行政サービスの提供を目的に、日本郵便株式会社との連携により実施するものです。郵便局という身近な施設で行政手続きができるようになり、さらなる住民サービスの向上が期待されます。



▲【写真左から】日本郵便株式会社公式マスコットキャラクター「ぼすくま」・小河原園部郵便局長・谷島市長・石岡市公式マスコットキャラクター「ししまる君」。



▲感謝状を受け取った谷島市長（写真左）といばらき広域農業共済組合 細田組合長理事（写真右）。

## 農業者の安定経営を支援 収入保険の普及に向けた連携で 石岡市長に感謝状

石岡市といばらき広域農業共済組合が農業経営支援に向けて協定を締結し、連携体制を整えたことが評価され、1月22日（木）全国農業共済組合連合会から谷島市長に感謝状が贈られました。この協定は、農業者の経営を支える「収入保険制度」の普及を目的としたもので、自治体と農業共済組合が協定を締結するのは、県内初となります。市では、収入保険に新たに加わる農業者を対象に、保険料の一部を補助し、安定した農業経営を支援しています。市長は「市の農業政策が評価されたもの。引き続き農業の振興に尽力していきたい」と話しました。

## 全国大会で頂点 ヴァーチャル・テコンドー大会 優勝を市長に報告

12月21日（日）に開催された2025年全日本ヴァーチャル・テコンドー大会で見事優勝を果たした鈴木颯さんが、谷島市長を表敬訪問しました。鈴木さんは、大会での健闘を報告するとともに、優勝までの取り組みや試合当日の様子について語り、市長からは、健闘をたたえる言葉が贈られました。

鈴木さんは「今後は世界大会を目指して、さらに努力していきたい」と今後の目標を述べ、さらなる飛躍を誓いました。



▲谷島市長（写真左）と全国大会優勝を報告し、世界大会への意気込みを語った鈴木颯さん（写真右）。



## 手書きの想いを大切に 葦穂小学校で 手紙の書き方教室を開催

1月20日（火）葦穂小学校で、3・4年生を対象に、市内郵便局のご協力のもと、手紙の書き方などを学ぶ授業が行われました。授業では、SNSが主流の時代だからこそ、時間と手間をかけた手紙の大切さが伝えられました。児童たちは「10年後のあなた・わたし」に向け、将来の自分や大切な人に向けて、丁寧に手紙を書きました。終了後は「とても楽しかった!」といった声が聞かれるなど、児童みんなにとって充実した授業となりました。



▲授業の様子。児童たちは、将来の自分や大切な人を思い浮かべながら、丁寧に手紙を書きました。



▲消防パレードの様子。駅前を走行する消防車両に、沿道から多くの声援が送られました。

## 防火・防災への意識を新たに 石岡市消防出初式を開催

1月10日（土）市民の防火・防災意識の向上と消防職員・消防団員の日頃の訓練成果を披露する「令和8年 石岡市消防出初式」が、市制施行20周年記念事業として開催されました。

当日は、茨城電設スポーツパーク石岡での点検や式典の後、JR石岡駅前から御幸通りにかけて消防パレードを実施しました。消防車両の行進や放水訓練、救出訓練のほか、幼年消防クラブの演技も披露され、来場者は消防活動を間近で見学しました。

一年の始まりに、防災への意識を新たにする一日となりました。

## 文化財を火災から守る たいないじ 泰寧寺で文化財防火訓練を実施

1月26日（月）<sup>たいないじ</sup>泰寧寺（根小屋）で、文化財防火デーに合わせた消防訓練が行われました。文化財防火デーは、昭和24年1月26日に奈良県の法隆寺金堂が炎上し、貴重な壁画が焼損したことを契機に定められたものです。訓練には八郷消防署が参加し、放水訓練などを実施しました。

当日は、発煙筒を使用し、火災発生を想定。通報から初期対応、消火活動まで、一連の流れを本番さながらに確認しました。住職は、消防隊が到着するまでの間、本堂から文化財を持ち出す対応を行うなど、現場は本番さながらの緊張感に包まれました。



▲文化財を守るため、本番さながらに行われた放水訓練。